【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成20年9月4日(2008.9.4)

【公表番号】特表2004-513074(P2004-513074A)
【公表日】平成16年4月30日(2004.4.30)
【年通号数】公開・登録公報2004-017
【出願番号】特願2002-509771(P2002-509771)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　39/395　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/7088　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　39/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　45/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　48/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/00　(2006.01)
Ｃ１２Ｑ　1/68　(2006.01)
Ｇ０１Ｎ　33/53　(2006.01)
Ｇ０１Ｎ　33/566　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　15/09　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　38/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　39/395　Ｄ
Ａ６１Ｋ　39/395　Ｍ
Ａ６１Ｋ　39/395　Ｎ
Ａ６１Ｋ　31/7088
Ａ６１Ｋ　39/00　Ｈ
Ａ６１Ｋ　45/00
Ａ６１Ｋ　48/00
Ａ６１Ｐ　35/00
Ｃ１２Ｑ　1/68　ＺＮＡＡ
Ｇ０１Ｎ　33/53　Ｄ
Ｇ０１Ｎ　33/53　Ｍ
Ｇ０１Ｎ　33/566
Ｃ１２Ｎ　15/00　Ａ
Ａ６１Ｋ　37/02

【手続補正書】
【提出日】平成20年7月4日(2008.7.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　L1レベルが患者サンプルにおいて決定され、L1の存在が卵巣腫瘍もしくは子宮内膜腫瘍の存在の指標またはかかる腫瘍の素因の指標であることを特徴とする、卵巣腫瘍または子宮内膜腫瘍の検出または予後方法。
【請求項２】　組織において細胞表面分子としてL1を測定することによりL1レベルを決定する、請求項１記載の方法。
【請求項３】　患者サンプルとしての体液中の可溶性形態のL1を検出することにより

L1レベルを決定する、請求項１記載の方法。

【請求項４】　体液が血清である請求項３記載の方法。

【請求項５】　患者サンプルと抗L1抗体またはそのフラグメントとを接触させ、次に該抗L1抗体またはそのフラグメントがL1に結合しているかどうかを測定することによりL1レベルを決定する、請求項１～４いずれか記載の方法。

【請求項６】　ラジオイムノアッセイまたはELISA として行なう、請求項５記載の方法。

【請求項７】　患者サンプルにおける抗L1抗体またはそのフラグメントの存在をL1への結合により測定することによりL1レベルを決定する、請求項１～４いずれか記載の方法。

【請求項８】　L1が組換え体である請求項７記載の方法。

【請求項９】　体液中のL1 mRNA の存在を測定することによりL1レベルを決定する、請求項１～４いずれか記載の方法。

【請求項１０】　RT-PCRを介してL1 mRNA の検出を行なう、請求項９記載の方法。

【請求項１１】　抗L1抗体またはそのフラグメントを含んでなる医薬調製物。

【請求項１２】　L1またはそのフラグメントに由来するペプチドを含んでなる医薬調製物。

【請求項１３】　L1アンチセンスオリゴヌクレオチドを含んでなる医薬調製物。

【請求項１４】　卵巣腫瘍または子宮内膜腫瘍を治療するための医薬の製造における抗L1抗体またはそのフラグメントの使用。

【請求項１５】　卵巣腫瘍または子宮内膜腫瘍を治療するための医薬の製造におけるL1またはそのフラグメントに由来するペプチドまたはタンパク質の使用。

【請求項１６】　卵巣腫瘍または子宮内膜腫瘍を治療するための医薬の製造におけるL1アンチセンスオリゴヌクレオチドの使用。